

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

### 《週報》

第 5 巻第 19 号

第 19 週(5月 9日 ~ 5月 15日)

発行年月日:平成17年(2005年) 5月 20日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1)全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (19週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (19週)	全国 (19週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	<sup>(*)2</sup> 4	214	9	576
	腸チフス	0	0	20	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	283	21	3,640
4類感染症	E型肝炎	0	0	<sup>(*)3</sup> 20	1	34
	オウム病	1	1	23	1	39
	デング熱	0	1	12	2	45
	マラリア	0	0	22	2	73
5類感染症	アメーバ赤痢	0	1	234	8	580
	ウイルス性肝炎	0	0	104	5	299
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	24	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	1	352	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	18	2	85
	梅毒	0	0	168	4	516
	破傷風	0	0	28	2	100
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	30	0	49
急性脳炎	1	1	<sup>(*)3</sup> 92	1	164	

\*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

\*3:平成17年第16週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

### 2)定点把握の対象となる5類感染症

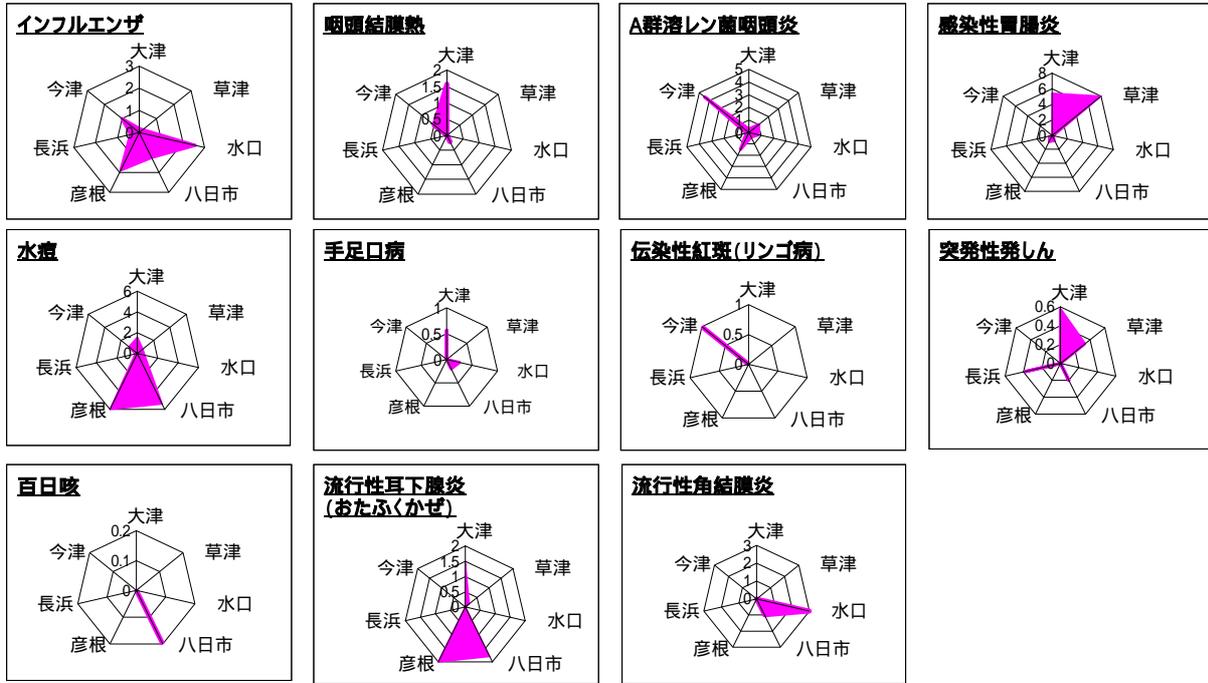
#### (1)疾病別・週別発生状況(第14~19週、4/4~5/15)

疾患名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	14週		15週		16週		17週		18週		19週	
	(4/4~)	(4/11~)	(4/18~)	(4/25~)	(5/2~)	(5/9~)	15	16	17	18	19	
インフルエンザ	6.22	6.25	4.84	5.96	2.57	0.98						
RSウイルス感染症	0	0.03	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	0.03	0.12	0	0	0.24	0.39						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.30	0.73	0.55	0.73	0.39	0.88						
感染性胃腸炎	2.76	3.97	3.85	3.88	2.64	2.94						
水痘	1.67	1.45	1.58	1.76	1.79	2.18						
手足口病	0.12	0.06	0	0.06	0.12	0.18						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0.06	0.09	0.06						
突発性発しん	0.52	0.52	0.36	0.24	0.30	0.27						
百日咳	0	0	0	0	0	0.03						
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0.03	0						
ヘルパンギーナ	0	0.15	0	0.15	0.09	0						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.91	1.15	0.52	0.58	0.82	0.85						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.29	0.43	0.71	0	0.43	0.57						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.14	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第19週、5/9～5/15)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0.98	0.18	0.20	2.57	1.25	1.86	0.40	1.00	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.39	1.57	0	0	0.20	0	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	0.29	1.00	0.75	0.40	1.50	0.20	4.50	
感染性胃腸炎	2.94	5.43	8.00	0.25	0.80	1.00	0.40	0	
水痘	2.18	1.57	0.67	0.75	5.40	6.00	0.20	1.00	
手足口病	0.18	0.57	0	0.25	0.20	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0	0	0	0	1.00	
突発性発しん	0.27	0.57	0.33	0	0.20	0	0.40	0	
百日咳	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.85	1.43	0.17	0	1.80	2.00	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.57	0	0	3.00	1.00	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。感染性胃腸炎は大津および草津で増えており、特に草津では先週より倍増しています。流行性耳下腺炎の発生は八日市および彦根でやや増えており、流行性角結膜炎は水口での発生が多くなっています。また、百日咳の発生については八日市から報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

\* 感染症法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

\* 疾患により定点数は異なります。

### 3) 今週のトピックス

#### インフルエンザの発生は全国と同様に減少傾向 水痘の発生は増加傾向

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(5月2日～5月8日)の報告数より少なくなっておりインフルエンザについても減少しています。今週、増加を示した疾患は咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、手足口病、流行性角結膜炎等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

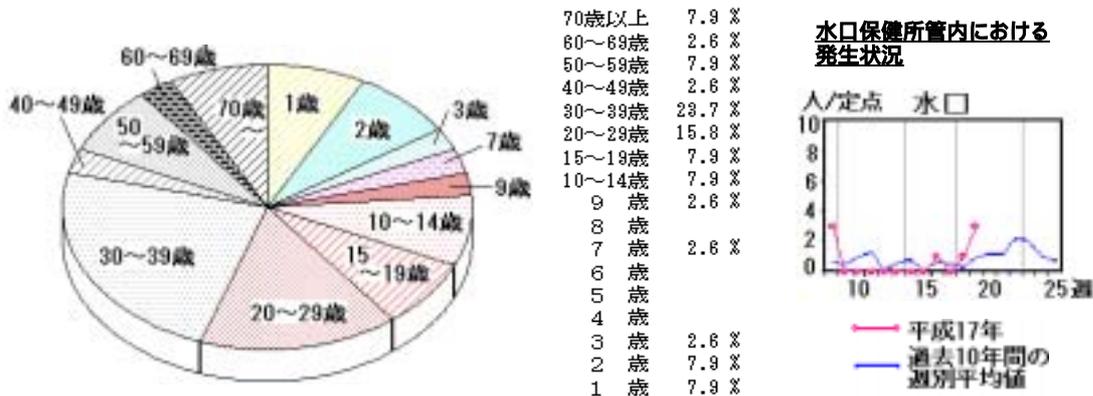
**インフルエンザ**については、先週の定点当たり患者数2.57よりさらに減少し0.98となり終息に向かっていますが、草津保健所管内においてインフルエンザA型による小学校の学級閉鎖(1クラス)が発生しています(滋賀県健康推進課より資料提供)。

**咽頭結膜熱**については、先週の定点当たり患者数0.24より増加し0.39となっています。特に大津保健所管内の定点当たり患者数は1.57と先週に引き続き多くなっています。

**A群溶レン菌咽頭炎**については、先週の定点当たり患者数0.39より増加し0.88となっており、今津保健所管内においては4.50と先週に引き続き多くなっています。

**水痘**については、先週の定点当たり患者数1.79よりさらに増加し2.18となっています。特に八日市および彦根保健所管内で急増しており、定点当たり患者数はそれぞれ5.40、6.00と多くなっています。

#### 流行性角結膜炎の年齢別発生状況(平成17年第1～19週)



平成17年第1～19週の年齢別発生状況についてみると、20～29歳および30～39歳においてやや多く発生しています。また、保健所管内別の発生状況についてみると、水口において18週および19週は過去10年間の週別平均値より多く発生しています。他の保健所管内における大きな変化はみられません。

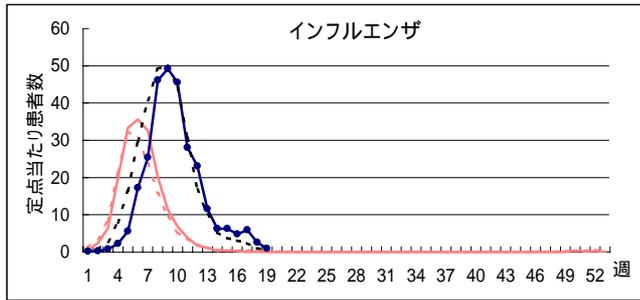
#### 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成17年第12～19週、H17.3.21～H17.5.15)

感染症類型	疾患名	1～11週の累積報告数	12～19週の報告年月日	概要		
				菌種、血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・感染経路等
一類感染症	報告なし	0				
二類感染症	細菌性赤痢	2	H17.4.2	菌種:フレキシネル	トルコ	不明
			H17.5.7(*)	菌種:ソネ	カンボジア ベトナム	不明
三類感染症	報告なし	0				
四類感染症	デング熱	1	報告なし			
	オウム病		H17.5.12		日本国内	インコ
五類感染症	アメーバ赤痢	1	報告なし			
	後天性免疫不全症候群		H17.4.20	その他	日本国内	同性間性的接触
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		H17.4.28		日本国内	手術創感染
	急性脳炎		H17.4.28		日本国内	手術創感染
			H17.5.9		日本国内	不明

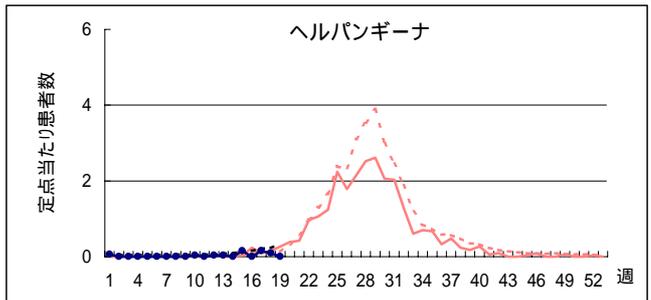
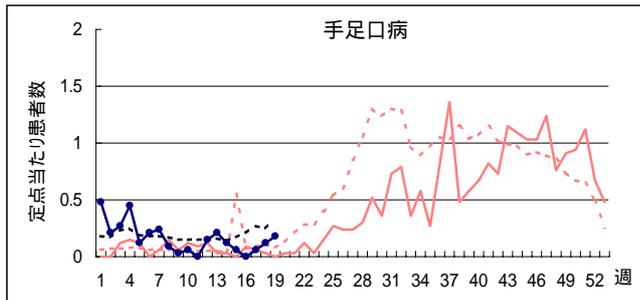
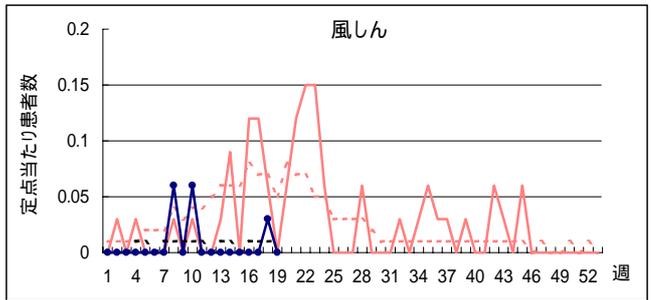
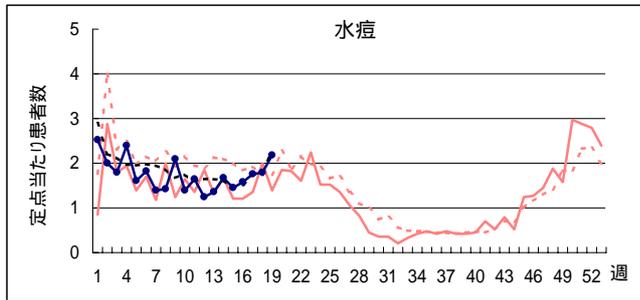
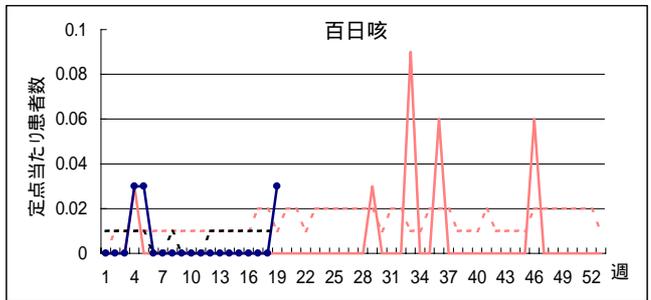
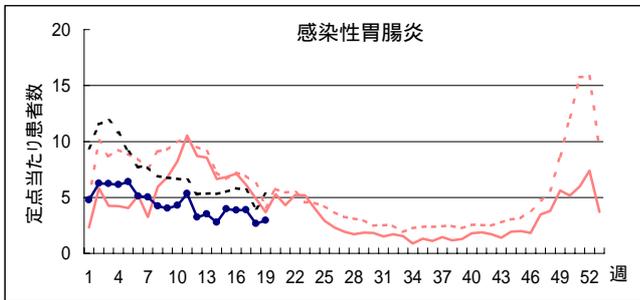
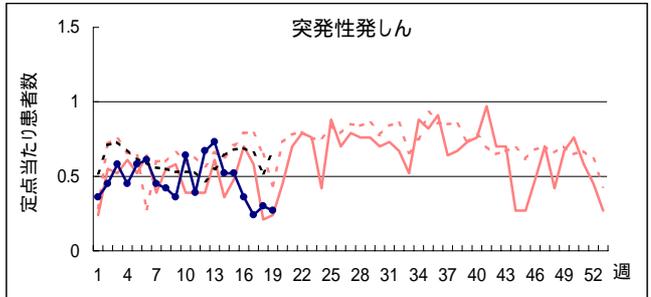
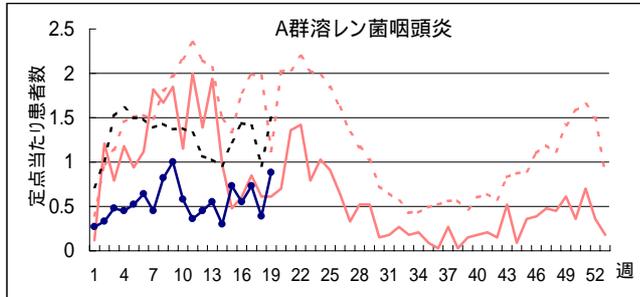
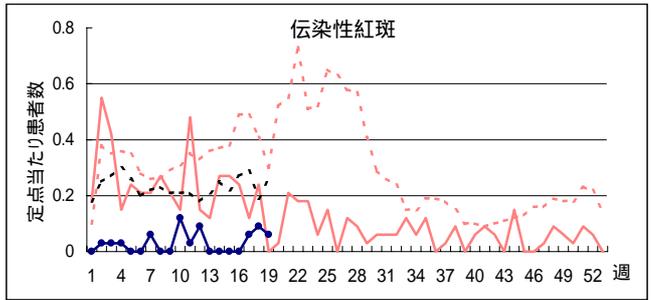
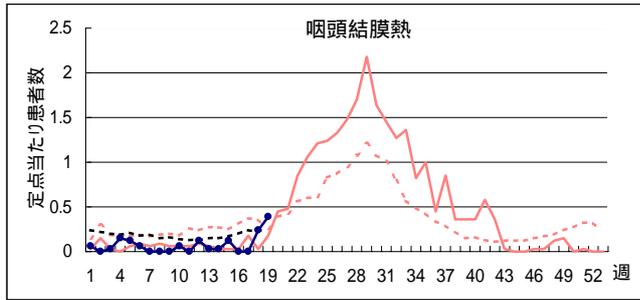
(\*) 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知による

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第19週、H17.1.3～H17.5.15)



H16 { 滋賀 (solid red line)  
       全国 (dotted red line)  
 H17 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
       全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第19週、H17.1.3～H17.5.15)

H16 〔 滋賀 ———— 全国 ..... 〕  
 H17 〔 滋賀 ●——● 全国 ..... 〕

